

令和5年度 「特色ある学校づくり対策事業」 実践報告



佐世保市立愛宕中学校

所在地 佐世保市赤崎町483番の2

校長 萩山 栄二

生徒数 1年生76名 2年生64名

3年生77名 計217名

学級数 普通学級6 特別支援学級2



1 テーマ

ふるさとを愛し、知性と感性が豊かで活力ある生徒の育成

2 目的

本校は「ふるさとを愛し、知性と感性が豊かで活力ある生徒の育成」を学校教育目標に掲げ、確かな学力を身に付けることを基盤としながら、地域を学ぶ中でふるさとへの思いと課題解決能力を高める「特色ある学校づくり」を推進します。ふるさとを愛し、いつかはふるさとのために貢献したいという思いをはぐくみたいと考えております。

3 実践内容

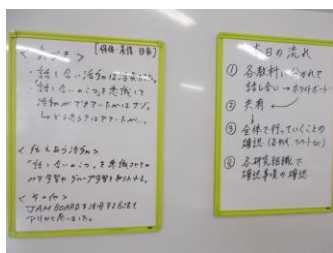
(1) 学力向上 主体的な活動から学力向上を目指す生徒の育成

～伝え合う力を重視した授業改善～ (全学年 通年 授業 校内)

今年度は「主体的・対話的で深い学び」について「伝え合う力」を柱に校内研修に取り組んできました。また、ICTを活用しながら深い学びにつなげる工夫を行ってきました。生徒が各班で意見を交わし、発表するツールとして、全学級及び特別教室にホワイトボードを整備補充しました。気軽に話し合いができる体制が整い、生徒もペア学習やグループ学習が上手になりました。

また、一人1台端末を有効活用し、「google ジャムボード」「google クラスルーム」「eラーニング」等を各教科で教師自らが工夫・実践し、生徒や教師のタブレット使用がスムーズになってきました。今後は、その学び合いが深い学びにつながっているかどうかの検証を行う必要があります。

3年生の実力テストで業者テストを1回利用しました。今求められている読解力や表現力を問うことができ、生徒自身どのような力が必要なのか意識することができました。



(2) ふるさと佐世保体験学習

愛宕中学校校区は、佐世保を代表する産業施設や観光施設が隣接しています。その施設を生かし、体験しながらふるさとの魅力や課題に興味をもたせます。

6月27日 海上自衛隊見学

- ① テーマ ふるさと佐世保にかかわる平和学習を深めよう
- ② 日時 令和5年6月27日（水）8：30～12：30
- ③ 活動
学校出発→移動（徒歩）→旧佐世保鎮守府防空指揮所跡及び
海上自衛隊佐世保資料館（セイルタワー）見学→移動（徒歩）
→学校着



9月21日「ふるさと佐世保」体験学習 森きらら・海きらら施設体験 9:00～14:00

① 目的

総合的な学習の時間におけるテーマ「つながる力の育成」のもと、学校教育目標であるふるさとを愛し、知性と感性が豊かで活力ある生徒の育成を目指します。

②活動内容について

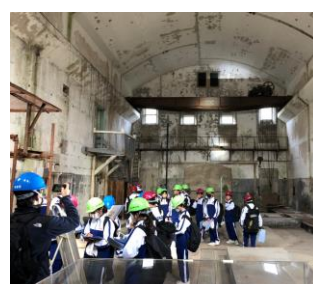
海きらら		森きらら	
時間	学習内容	時間	学習内容
8:50	現地集合	8:50	現地集合
9:00	挨拶、説明	9:00	挨拶、説明
9:10	水族館見学	9:10	動物園見学 餌やり体験
9:40	バックヤードツアー	11:00	ペンギンタイム
10:20	イルカのプログラム	11:30	バックヤードツアー
11:30	昼食・休憩	12:00	昼食・休憩
12:30	シーカヤック体験	13:00	ワオキツネザル大接近
13:50	挨拶、確認	13:50	挨拶、確認
14:00	現地解散	14:00	現地解散



(3) 6.29 平和集会（全学年 6月29日「佐世保空襲の日」 体育館）

第二次世界大戦中の1945(昭和20)年6月28日から29日にかけて、佐世保の市街地がアメリカ軍の爆撃機による大規模な空襲により多くの犠牲者が出たことを受け、佐世保空襲に関わる話を佐世保史談会会長中島眞澄様にいただきました。

- (4) 「ふるさと歴史発見」学習（1年生11月30日 福井洞穴 針尾無線塔 無窮洞等）
二班に分かれ、佐世保史談会の方々の案内により、佐世保の歴史について学びを深めました。見識を広げるとともに、ふるさと佐世保市への関心や郷土愛を高める機会となりました。また、事後活動での壁新聞作成では表現力を高めることもできました。



(5) 校区内地域ボランティア活動

- ・地域清掃ボランティア（1年生 1月26日 校区内地域）
 - ・一人暮らしのお年寄りの方々への寒中見舞い（3年生12月20日 各教室）
 - ・一人暮らしのお年寄りの方々への絵手紙（2年生1月25日 各教室）
- 絵手紙作成では地域の方々のご指導を仰ぎ、各ご家庭への配付は民生委員の方のご協力を得て実施しました。



【地域清掃ボランティア】



【絵手紙作成】

4 まとめ

カリキュラムマネジメントを推進し、学校教育目標「ふるさとを愛し、知性と感性が豊かで活力ある生徒の育成」と愛宕中学校の特色ある教育の目標を関連付け、ふるさと教育をテーマの中心として実施できました。新たな取組を増やすというよりも、今計画にある活動をふるさと教育の視点を取り入れながら実施しました。地域人材の活用や地域の施設利用により、生徒のふるさとに対する愛着や意識を高めることができました。ふるさとの観光施設として九十九島パールシーリゾート「九十九島水族館海きらら」「九十九島動植物園森きらら」での体験では職員の方ならではの話を聞くことができました。今まで知らなかった貴重な動植物等が校区内に存在しているという新たな発見があり、地域の魅力再発見につながりました。またシーカヤック体験では施設で働かれているスタッフの方々との交流により、職場体験への意欲につながり、勤労観や地元で働く人々の思いについても考えることができました。独居老人宅への寒中見舞いや絵手紙は大変喜ばれており、感謝の手紙や電話が学校に届いており、地域とのつながりが深まったことを実感できました。1年生の地域環境ボランティアでは、地域の美化作業を通して、地域の環境を守ることや良さを再確認することができ、2年次のふるさとの観光施設体験につなげることができます。学力向上に関しては、昨年度から各教室の各班分すべてのホワイトボードをそろえるようにしています。今年度も補充を行い、ほぼすべての教室にそろいつつあります。各教室や特別教室においてもすぐに利用することができ、主体的対話的な授業の実践に大変役立っています。